

事前評価個表

事業名	森林環境保全整備事業（国有林）	事業計画期間	平成22年度～平成26年度																				
事業実施地区名 （都道府県名）	（おおづちけせんがわ） 大槌・気仙川森林計画区 （岩手県）	事業実施主体	東北森林管理局 三陸中部森林管理署																				
事業の概要・目的	<p>当事業は、岩手県南東部に位置する大槌・気仙川森林計画区内の国有林野29,056haを対象としている。</p> <p>当計画区は、全体的に北上高地から太平洋沿岸に向けて東傾している一帯であり、地形は一般に急峻で、特に海岸部は急斜面の地形が多い。しかし、遠野市に隣接する橋野地域は起伏の少ない台地が広がっている。</p> <p>林況については、気仙川流域にスギ・アカマツを主体とした人工林、橋野川流域の山岳部にブナ・ナラ等の天然林及びアカマツ・カラマツを主体とした人工林からなっている。人工林の齢級構成では間伐対象齢級である4齢級から12齢級が約9割を占めている。</p> <p>海岸部は、複雑に入り込んだリアス式の海岸線からなる観光名所が多く、陸中海岸国立公園、保健保安林となっており、五葉山周辺の山岳林は五葉山県立自然公園の指定を受けている等、レクリエーション・保健休養の場として広く利用されている。</p> <p>当計画区は、水源かん養保安林を主とする保安林が国有林の約88%となっており、下流域の上下水道用水や産業用水の水源として重要な役目を担っている。</p> <p>さらに、当地域は、「気仙スギ」、「気仙大工」の言葉に象徴されるように、従来より豊かな森林資源を活用して林業が盛んであり、合板・集成材工場等の木材加工施設の整備が進み、林業・木材産業の活性化に積極的に取り組んでいるところである。</p> <p>当事業は、これらの地域の特性を踏まえて、地球温暖化防止や水源かん養機能、木材生産機能等の森林の有する多面的機能を総合的かつ高度に発揮させるために必要な更新や間伐等の保育作業、並びにこれらを実施するために必要な路網整備を森林の重視すべき機能の区分に応じ実施するものである。</p> <table border="0" style="width: 100%; margin-top: 10px;"> <tr> <td style="width: 20%;">主な事業内容</td> <td style="width: 15%;">森林整備</td> <td style="width: 15%;">更新面積</td> <td style="width: 50%;">301 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>保育面積</td> <td>6,079 ha</td> </tr> <tr> <td></td> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>5.0 km</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td>改良延長</td> <td>1.5 km</td> </tr> <tr> <td>総事業費</td> <td colspan="3">1,882,182 千円</td> </tr> </table>			主な事業内容	森林整備	更新面積	301 ha			保育面積	6,079 ha		路網整備	開設延長	5.0 km			改良延長	1.5 km	総事業費	1,882,182 千円		
主な事業内容	森林整備	更新面積	301 ha																				
		保育面積	6,079 ha																				
	路網整備	開設延長	5.0 km																				
		改良延長	1.5 km																				
総事業費	1,882,182 千円																						
費用対効果分析	総 便 益（B）	17,929,305 千円																					
	総 費 用（C）	2,371,344 千円																					
	分析結果（B / C）	7.56																					
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・ 必要性： 地球温暖化防止対策や国土保全、水源かん養及び保健休養等の公益的機能の発揮や木材の安定供給が求められている地域であり、事業の必要性が認められる。 ・ 効率性： 費用対効果分析の結果から、事業の効率性が認められる。 ・ 有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた計画的な森林整備により、森林の有する機能の発揮が十分図られることから、事業の有効性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に評価したところ、森林の重視すべき機能（特に水源かん養）に応じた適切な森林整備及び路網整備が効率的に計画されていると認められる。</p>																						

便 益 集 計 表

事業名: 森林環境保全整備事業

事業実施主体: 東北森林管理局

事業実施地区名: 大槌・気仙川森林計画区(岩手県)

三陸中部森林管理署

(単位: 千円)

大 区 分	中 区 分	評 価 額	備 考
水源かん養便益	洪水防止便益	4,881,493	
	流域貯水便益	1,815,921	
	水質浄化便益	2,561,336	
山地保全便益	土砂流出防止便益	4,915,739	
環境保全便益	炭素固定便益	1,285,690	
木材生産等便益	木材生産経費縮減便益	93,198	
	木材利用増進便益	384,361	
	木材生産確保・増進便益	1,904,087	
森林整備経費縮減等便益	造林作業経費縮減便益	57,829	
	森林管理等経費縮減便益	1,055	
	森林整備促進便益	28,596	
総便益(B)		17,929,305	
総費用(C)		2,371,344	
費用便益比		7.56	